

# 地域活性化委員会 報告書

日時	令和6年2月19日(月) 12:00~13:50	
場所	倶知安町中小企業センター ホール	
出席者	委員	柏谷委員長・川上副委員長・佐藤委員・斎藤委員・脇山委員・山田委員 青木委員・木村委員・上原子委員
	三役	本田副会頭(担当)・白木会頭・宮崎専務理事
	事務局	柳沢局長・尾田次長・菊池
概要	事務局より令和5年度事業計画の実施状況について報告し、令和6年度の事業計画について協議した。	
内容	<p><b>1. 令和6年度事業計画の策定について</b></p> <p>(1)地域経済連携会議の開催 ・7月4日と12月25日の2回開催</p> <p>(2)経営相談、起業・事業承継相談(Kbiz)の推進 ・経営相談については中小企業相談所で常時実施 ・起業相談についてはビジネススクールの初級編と中級編を実施し、それぞれ12名の参加があった ・事業承継相談については、北海道事業承継引継支援センターと連携し推進</p> <p>(3)駅周辺や中心市街地のまちづくりに関する情報共有・意見交換 ・地域経済連携会議に委員がオブザーバーとして出席したほか、委員会開催時に新幹線関係や町のまちづくりに関する情報交換をした</p> <p>(4)経営環境調査の実施及び移住受入対策の推進 ・経営環境調査は令和5年1月~6月の上期分を8月に実施し、下期分については2月中に実施予定 ・移住受入対策については11月28日に札幌学院大学を訪問し、3講義分の時間を用いて、倶知安町の仕事や住環境などの紹介をした</p> <p>※令和6年度事業計画実施項目については、上記4点に引き続き取り組み、案における「大学での移住・定住フェアの実施」は削除する</p> <p><b>2. その他</b></p> <p>柏谷委員長より、ヒラフ地区における従業員住宅確保に向けた動きや新幹線駅舎、周辺施設の整備進捗状況について情報提供があった</p>	

# 地域活性化委員会 報告書

<b>日時</b>	令和5年10月2日(月) 10:00~11:30	
<b>場所</b>	倶知安町中小企業センター ホール	
<b>出席者</b>	委員	柏谷委員長・川上副委員長・佐藤委員・脇山委員・山田委員 青木委員・木村委員・高橋委員
	三役	白木会頭・榊監事・宮崎専務
	役場	渡部総合政策課係長
	事務局	柳沢局長・尾田次長・菊池業務係
<b>概要</b>	①官民協働による移住・就業フェア、②令和6年度の倶知安町への要望事項について協議した。	
<b>内容</b>	<p><b>1) 官民協働による移住・就業フェアについて</b>            大学生を対象として、倶知安町への移住や就業を促す取組について、柏谷委員長より別紙資料について説明後、倶知安町のPR事項や課題等について協議した。            ①札幌学院大学…11月14日(火) 13:00~18:10            ②北海道科学大学…時期未定</p> <p><b>【意見・課題】</b></p> <p>■倶知安の魅力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は馴染みのない場所で就職する際、その町に何があるのか気になると思う。特に将来設計をしたときに子育て支援や施設などは気になるのではないか。</li> <li>・札幌の方が住みやすいのは事実。地方に住むと車が必要となり、支出や負担が増える。これを上回るメリットを提示しなくてはならない。</li> <li>・都市部に住みたい人へPRしてもおそらく厳しいため、倶知安など地方に興味を持っている人にPRすれば、そのうち何人かは来てくれるかもしれない。</li> <li>・休日にアウトドアを楽しむことができることは魅力であるため、発信すべき。</li> <li>・朝にスキーやスノーボードを滑ってから出勤するという事例がある。趣味の時間を確保してもらうために、フレックスタイム制を導入することが考えられる。</li> <li>・町では不足する保育士確保のため、返済奨学金の一部を補助する支援を実施している。</li> <li>・東川町は子育て支援が充実していて、移住者が増えている。</li> </ul> <p>■提示する情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口や平均所得。</li> <li>・倶知安の産業別企業情報。</li> <li>・就職後のキャリアパス（保護者目線）。</li> <li>・従業員のタイムスケジュール紹介（プライベートの過ごし方も含めて）</li> </ul> <p>■倶知安の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住する人にとって、家賃が高騰していることは課題。以前から課題として挙げられていたので、町からの優遇措置や企業による家賃補助など、対策が必要。</li> <li>・倶知安は家賃が高く、移住候補先からは外れてしまうケースが多い。</li> <li>・賃貸住宅は企業からの問い合わせが多いため、奪い合いの状況。</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学3年生採用に向けた広報活動の解禁が3月のため、雇用条件等の情報は提示できない。</li> <li>・官民協働とあるが、行政側はどのくらいのことをやってくれるのか。</li> <li>・求人をしている企業でプロジェクトを作ってはどうか。</li> <li>・準備不足な面が多々あるので、委員長と事務局で再整理する。</li> </ul> <p><b>2) 令和6年度 倶知安町への要望事項について</b>            本年度の要望事項を参考に、翌年度の要望事項について協議。4番の石造倉庫の取得状況についての質問があったが、その他は特に意見なし。</p>	

# 地域活性化委員会 報告書

日 時	令和5年6月26日(月) 13:30~14:40	
場 所	倶知安町中小企業センター 研修室	
出席者	出席者	柏谷委員長・川上副委員長・佐藤委員・山田委員・高橋委員 白木会頭・本田副会頭(担当役員)
	事務局	宮崎専務理事・柳沢局長・尾田次長
概 要	今年度の委員会活動内容について共有、事業実施項目について協議した。	
内 容	<p><b>1. 倶知安町地域経済連携会議について</b></p> <p>○第11回倶知安町地域経済連携会議の議題について共有した。 7月4日開催。倶知安町長・町担当課長、振興局長を来賓としてお招きし、各団体の状況と今年度の取り組み及び今後の懸念事項について情報共有を予定。</p> <p><b>2. 経営環境調査(アンケート)について</b></p> <p>○事務局より、アンケートについて説明。経営相談や、起業・事業承継等の課題やニーズ調査のため、昨年相談所で実施した景況感調査に当委員会と総務委員会の設問を追加したものをベースに協議した。7月に全会員に郵送とメール送信、職員の巡回訪問時に聞き取り調査を実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設問Q1、主たる業種の修正(サービス業に含まれる飲食業、宿泊業を選択肢として追加)。</li> <li>・設問Q9の選択肢②「地域外への本社移転等を考えている」と修正。</li> </ul> <p><b>3. 倶知安ビジネススクール2023(初級編・中級編)について</b></p> <p>○事務局より事業概要について報告。前年度に引き続き初級編、今年度より新たに中級編を開設。講義内容や対象受講者等について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級編は、新規受講者を優先。前年度の初級編受講者は、定員に空きがある場合受講可能とする。</li> <li>・スクール受講中、受講終了後のフォローアップを実施する。</li> <li>・受講者が創業した際の優遇措置(助成金等)を町に要望済みではあるが、まずは担当者レベルで協議を進める。</li> </ul> <p><b>4. 移住受入対策の推進について</b></p> <p>○委員長より、仮称「官民協働による移住・就業フェア」について説明。大学施設の一角を借りて、倶知安の魅力と働き口や衣食住環境について知ってもらうため、当会員(民)と役場(行政)で協働しブースの設置が提案され協議した。対象生徒は道内大学の2年生、実施時期は10月頃を予定。開催日前後で、当所会員と生徒との懇談会開催も検討。実施に向けて推進することで異議なく可決した。</p>	